

Class: X30 Tire: DUNLOP SL6  
 Engine: IAME X-30 Mechanic: 野間 一  
 Frame: BIREL RY30S4 CIRCUIT: SUGO 西



**RESULT**  
全13台

TT: 2位(40.557)  
 予選: 10位(40.819)  
 決勝: 13位(DNF 41.472)



**本レースを迎えるにあたり**

今回の地方選手権は、スポット参戦なのでポイントは考えずまずはレースを楽しみながら自分の力が地方戦でどこまで通用するのかを試す気持ちで挑みました。

**前日**

SUGOに向かう途中の東北道が大渋滞していた関係で、到着が2時間遅れ。焦っても仕方がないので、前日走行枠を15分×3本に絞ってテストする事にした。ロングランでの安定性が課題だったので、2本はセットに専念し、1本はロングランする方向で進める事にした。1本目走行するとマシンバランスが良く無かった(以前からも感じていた)ので、2本目は思い切ってシート位置を変更してみるとバランスが凄く良くなる。3本目は予定通りロングをするつもりでコースインしたが、キャブスプリングが破損しアクセルが全開状態から戻らなくなってしまうトラブルに合い、結局ロングはできず。マシンバランスは大幅に良くなったが、課題が消化しきれない状態でレースを迎えました。

**公式練習・予選**

マシンが自分好みになった事もあり、自信を持って走らせる事ができました。その甲斐あってか、公式練習ではUSEDタイヤにしてNEWタイヤ勢の0.3落ち、そしてTTでは、あと少しでPPの2番手タイム、またTTでは凄く高い集中力で走れた事も、タイムが良かった大きな要因だと思います。

**予選**

TTは上手くいったが、レースではそう甘く無い、課題が解決できていないのも正直気になっていました。スタートは1台抜かれて3位で抜けたが、その後猛烈なプッシュに合い、順位をズルズルと落としていき、揚句は4コーナーでミサイルを受けてハーフスピン。戦線離脱。その後の単独走行では、トップとほぼ同じペースでコンスタントに刻めていたので速さは充分証明されたが、結果に繋がらず。

**決勝**

地方戦のレースはとにかく周回数が長い。焦って序盤で無茶するな！！それを充分に言い聞かせて挑んだつもりだったが、わずか2周目に強引に入られた際にくだらない意地を張りレース終了。後からいくら後悔しても既に遅い。

**課題**

・完走すること ・くだらん意地を張らない(当たり前すぎる...) ・ロングランでの安定性

**最後に**

今回はスーパー耐久でも活躍中の野間君がメカニックだった事もあり、レースに向けた姿勢や取り組み方を含めて色々話せたので凄く良い刺激になったと思います。「レースは自分ひとりのものではなくチーム全体のもの」という気持ちで自身も挑んでいたつもりでしたが、正しく自分の中でそれを理解できていたなら、決勝でのあのクラッシュは無かったと思います。色々な意味で凄く考えさせられるレースでした。